



岩江中だより

第 13 号

発行日：平成28年7月20日
発行：三春町立岩江中学校
電話：0247-62-8290
FAX：0247-62-8380
E-mail：iwae-j@fcs.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに、たくましく』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【確かな力となってきました！～文字に親しみ、落ち着いて一日が始まっています。～】

一日の始まりは、『朝の読書』から。8時10分より各教室では、子どもたちが、自分の選んだ本を手に、『朝の読書』に取り組んでいます。

年度当初は、一部でなかなか読書が始まらないところもありましたが、ここに来て、『朝の読書』の時間に校舎を巡って歩くと、「し～ん。」とした雰囲気。その状態で1日のスタートが切れるようになっていきます。2学期も継続していきます。



【確かな力となってきました！～スリッパを後から使う人のために整えられる子どもたち～】

4月のトイレのスリッパの様子は、第2号でもお知らせしておりましたが、右の写真をご覧ください。現在、よほどのことがない限り、写真のような状況に常になっております。

もともと、ほとんどはきちんと並んでいる状況でしたので、それが全体に波及してきたという状況です。岩江中学校の一人ひとりの生徒や先生方が、スリッパの並びに気をつけられるようになったということではないでしょうか。『たかがスリッパ、されどスリッパ』という文言を以前使わせていただきましたが、そんなところにも、生徒たちの成長がうかがえることをとてもうれしく思います。2学期以降も、『次に使う人のために。』



【朝の駅伝練習で疲れても！～昇降口の掃き掃除、花への水やりは欠かさずに。～】

生徒の登校が昨日は8時5分に完了し、5分早起きをがんばったんだなど、うれしい思いで校内に戻ろうとすると、生徒昇降口では、掃き掃除が、玄関までの通路脇のプランターには花の水やりが行われていました。子どもたちの中には、朝の駅伝練習に7時10分から取り組んでいる生徒もいて、「たいへんだね。」「いつもありがとう。」と声をかけると、「大丈夫です。」という返答が返ってきました。自らの係活動に主体的に取り組める岩江中学校の生徒たちのすばらしさを、日々、実感しています。その責任感、使命感にいつも感心しています。



【毎日がおいしく、バランスよい給食！

～調理員さん、千恵先生、毎日、ありがとうございます。～

今学期の給食を折にふれ紹介していますが、日々、充実したおいしい給食がいつも提供されています。本日も、カレーライスとサラダ、ヨーグルト、牛乳と、多彩なメニューで私たちの舌を

楽しませてくれました。

朝の学活で給食メニューの紹介があるくらい、本校の給食は充実していますし、栄養のバランスを考えたすばらしい給食です。2学期以降も、「食べる力」「感謝の心」「郷土愛」の育成をめざして、給食活動に取り組んでまいります。これまでごちそうさまでした。



【夏休みでも学校は開放いたします。勉強に、諸活動に活用してください。】

7月21日（木）から35日間の夏休みに入りますが、学校は開放いたします。ご用事やご相談がございましたら、いつでもおいでください。

3年生は、学校開放日に、進路実現、基礎力充実のための学習会を行います。特別な用事がない生徒は、冷房の効いた教室で勉強に取り組みます。受験用テキスト「スタプロ」を主教材に使用し、5教科の勉強に取り組みます。他学年からの先生方も活用しながらの勉強になります。3年生の保護者のみなさん、とてもよい勉強の機会となりますので、お子様の登校・参加への働きかけをよろしく願いいたします。

1・2年生は、部活動の中心として懸命に部活動に取り組むことにはなりますが、計画表に従って生活し、空いた時間には、解放される家庭科室などを使用することも当然可能ですので、学年の先生に相談し、さらに充実した夏休みとなるよう心がけてください。

【生徒会主催、全校レクに取り組みました！～紙飛行機をみんなで飛ばしました。～】

7月19日（火）の昼休みに、生徒会が主催する「全校レク」が行われました。

体育館に入ると、B4の紙が渡され、各自が、自分だけの紙飛行機を折りました。その後、ステージに上がり、フロアーに向かって飛距離を競いました。わが「かずのり号」は、ぐるぐる回って、ステージすぐに落下、優勝した飛行機は、体育館のセンターを越えました。



生徒会のみなさん、楽しい時間を設定して下さりありがとうございます。みなさんがめざす岩江中学校生徒会を求め、さまざまなアイデアを出したり、いろいろな活動に信念をもって取り組んだりして行ってください。期待しています。

【おかげさまで、実を結び、花開きました！

～第1学期、子どもたちは、たくさんの学びを経て大きく成長しました。～】

71日間の第1学期、それぞれの学級・学年で、さまざまな行事や活動に参加し、こどもたちは、教科の勉強に取り組み、人間関係や人との関わり方を学び、集団活動について理解し、道徳や人としての在り方を考え、職業観や勤労観について体験をとおして体感し、命のかけがえのなさについても学びました。

折から、横断歩道から空を眺めると、1羽のトンビが下界を見下ろし、山法師のとげとげの実が緑に染まり、合歓の木の花が桃色にほんわかと花を開かせていました。

命をつなぐ営みがそこにはあります。一人ひとりの子どもたちの今をより充実させ、さまざまな学びをとおして、自他の命をつなぐ力を身につけさせていくこと、時には褒め称え、時には叱咤激励する、そんな中から、子どもたちは生きていく上でとても大切なことを学んでいきます。

願わくは、学校、家庭、地域などが、「子どもたちのよりよい成長のため」という思いを共有し、子どもたちにかかわるすべての方々の役割と責任において、安心・安全の中で、のびのびと子どもたち一人ひとりの学びが行われることを切に願っております。ありがとうございました。

